



くんちゃんのはじめてのがっこう

くんちゃんシリーズ

ドロシー・マリノ さく まさき るりこ やく

ペンギン社 1982年 998円

36ページ 26×19cm

今日はくんちゃんが初めて学校へ行く日です。みつばちやビーバーに話しかけながらくんちゃんはとても楽しそうです。でも学校へ着いた途端、くんちゃんは心配になりました。くんちゃんは字が読めません。計算ができません。くんちゃんはそっと教室を出て行きました。でも大丈夫。先生はそんなくんちゃんを怒らないで、学校の楽しさを教えてくれました。

くんちゃんは森の中でおとうさんとおかあさんと一緒に暮らしています。くんちゃんの生活は、忙しすぎる大人たちや現代社会が忘れかけている“ことも時代の静かな生活”の大切さを教えてくれます。



げんきなマドレーヌ

マドレーヌシリーズ

ルドウィッヒ・ベームルマンズ 作・画

瀬田 貞二 訳

福音館書店 1972年 1365円

48ページ 31×23cm

古いお屋敷に、12人の女の子が住んでいました。一番のおちびさんはマドレーヌ。とっても元気な女の子です。ところがある夜、マドレーヌは盲腸で病院へ入院することになりました。お見舞いに行ったみんなは、マドレーヌのお腹の傷を見て、驚くやらうらやましいやら。自分たちも盲腸を切っしてほしい、とマドレーヌの真似をして、大きな声で泣きはじめるのでした。

寄宿舎での女の子たちの生活が、独特の絵柄で生き生きと描かれています。物語の背景に、パリ・オペラ座やノートルダム寺院など、パリの有名な建物や場所が多数描かれているのも見所のひとつです。